

会社を大きくするための 資金集めはどうしたらいいの？

大和証券グループ本社
Daiwa Securities Group Inc.

株式会社大和証券
グループ本社

<http://www.daiwa-grp.jp/csr>

会社をつくったはいけれど、もっと大きくするにはたくさんのお金が必要。どうやってたくさんのお金を集めたらいいんだろう？ 大和証券に聞いてみました。

A 証券取引所に上場して、
たくさんの人に株を買ってもらう方法があるよ。

会社を応援したいと思う人に「株」を売れば、たくさんのお金を集めることができます。大勢の人が株を売り買いする場所として、「証券取引所」があります。ここで株の売り買いをできるようにすることを、「上場」といいます。



証券会社は、「上場」のお手伝いをするよ

証券取引所に上場するためには、いろいろな準備が必要です。証券会社は、上場するために必要な手続きのお手伝いをします。

会社をもっと
大きくしたいんです。

では、
上場の準備を
しましょう
ケモ。

上場のための
準備(例)

- もうけを出して、会社を大きくするしくみと計画
- 不正が起きないようにするしくみ
- 株を買ってくれる人に会社の中身を説明する書類

証券取引所の
審査にスムーズに
通るよう、しっかり
確認するケモ。

工場はきちんと
動いているかな。
足りない書類は
ないかな……



証券会社が会社を証券取引所に推薦します。
証券取引所でも審査を行い……



やった！
これで上場
できる！



いやいや、
まだやらなきゃ
いけないことは
たくさんあるケモ。



いろいろな人に株を買ってもらうために

便利な品物を
つくって、
とても良い会社
だね！



もう少し
安ければ
買おうかな
……



上場は、多くの人に株を買ってもらうチャンスです。証券会社はその会社の見通しを説明し、応援してくれる人を探します。



どんな会社か
わかりやすく説明する
目論見書を渡して……

株をいくらなら
買ってくれるのか
質問するケモ。

目論見書って
なあに？

株などを買う時の判断に必要な、大切なことを説明した書類のこと。証券会社は、購入者に対し、これを渡すことが義務づけられています。

晴れて上場！

上場初日には、証券取引所でセレモニーが行われます。会社が大きく成長するための、記念すべきスタートの日です。初値(上場して最初の株の値段)は、たくさんの人たちの注目を集めます。

上場の鐘とは？

東京証券取引所で行うセレモニーでは、その企業の上場を知らせる鐘が5回鳴らされます。その企業が世間に認められる大企業となった、記念の鐘です。



会社が成長すると、社会全体が元気になります

答えてくれた人 大和証券グループ本社 広報部

ある会社の株を、新たに証券取引所に上場することをお手伝いしたり、その株をいろいろな人に買ってもらうことは、証券会社の重要な仕事です。新しい株を売った代金で、会社は人々の生活を便利にする新製品をつくらたり、サービスを始めたりすることができ、うまくいくと会社も成長していきます。会社が成長すると、会社を応援する人が持っている株の価値も、上がっていくことが期待できます。つまり株は、会社がお金を集める方法であると同時に、将来のためのお金を増やす方法でもあるのです。ただし、株を買っても、いつもうまくいくとは限りません。株を買うときは、目論見書をよく読んで、自分で判断することが重要です。また、ひとつの会社の株だけでなく、いろいろな会社の株を買うと良いともいわれています。

会社の成長は、
その会社だけでなく、
社会全体にとっても、
意義のあること
なんだ。

